

2026年度 常設展・文学館アーカイブ 第1期展示

# 武林無想庵

たけばやしむそうあん

武林無想庵（1880～1962）は、札幌生まれ。  
本名磐雄。実父の写真の師匠武林盛一夫妻の養子となり、4歳で上京し、東京で育つ。

学生時代に小山内薫らと文芸同人誌を創刊、翻訳も手がける。1920年、中平文子と2度目の結婚をしてヨーロッパに渡る。『結婚礼讃』『文明病患者』などを日本で出版。妻文子と複数の男性との交際を「『Cocu』のなげき」に執筆。帰国後、1943年に失明。無想庵が語った内容を妻が口述筆記した「むさうあん物語」（会員制の個人誌）が1957年から刊行、死後も発行が続き、終了したのは無想庵の死から5年以上経過した1969年だった。

劇作家・小説家の小山内薫、ダダイストの辻潤、日本画家の水島爾保布、詩人の山本露葉らと交友した無想庵。本展では、その人生と文学、幅広い交友を紹介する。



三度の結婚。一〇年以上に及ぶヨーロッパ滞在。失明。三人目にして最後の妻の口述筆記による「むさうあん物語」。波乱万丈な人生を送り、忘れられた鬼才の作家。

4月15日（水）～6月24日（水）

開館時間：9:30～17:00（入場は16:30まで）  
休館日：月曜日（5月4日を除く）、5月7日（木）

常設展示室内 アーカイブコーナーにて

観覧料（常設展観覧料） 一般500（400）円 高・大生250（200）円 中学生以下、65歳以上無料  
（ ）内は10名以上の団体

北海道立文学館



〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号  
TEL：011-511-7655

施設設置者：北海道教育委員会 指定管理者：公益財団法人北海道文学館